

Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University



社会環境学専攻
経済環境論講座

Economic Environment Unit

松本睦 Mutsumi Matsumoto 教授・博士(経済学)

専門分野: 公共経済学、地方財政、地域経済学

キーワード: 租税競争、地域間政策協調、環境連邦主義、地方分権

- ・(財)自治総合センター「地方分権に関する基本問題についての調査研究会」委員
- ・京都府「大規模小売店舗立地審議会」会長代理

【研究方法】

応用ミクロ経済学; 地方財政制度の分析

【研究の概要】

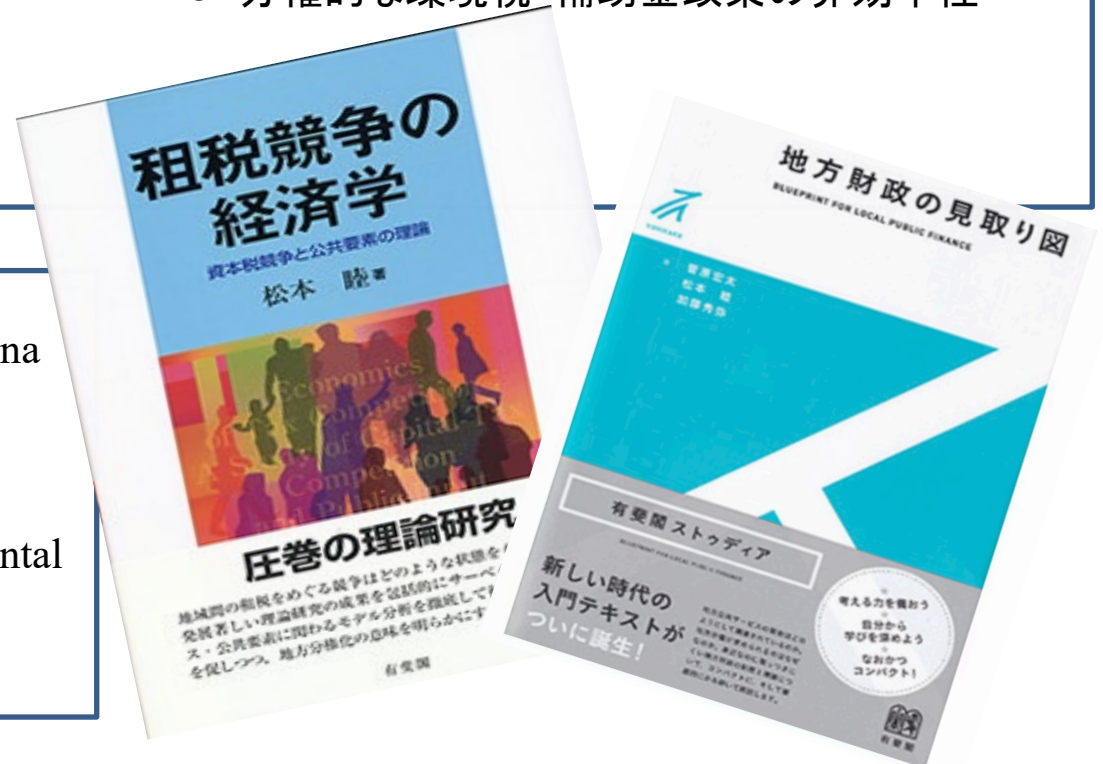
- 地域間の政策競争の理論的帰結
- 分権的環境政策の理論的帰結

【最近の具体的な研究テーマ】

- 地方分権化の下での効率的政府間財政移転
- 分権的環境税・補助金政策の非効率性

【最近の大学院生の研究テーマ】

- ・ Sustainable Rural Development in China
- ・ Tax Competition and Environmental Policy under Absentee Ownership of Immobile Factors
- ・ Fiscal Decentralization and Environmental Policy
- ・ 製品の計画的陳腐化と環境政策



専門分野: 経営学 / 経営組織論

キーワード: 新制度派組織論 / サステナブル・アントレプレナーシップ / ソーシャル・エンタプライズ / 持続可能な社会と企業経営

【研究内容】

- ・多様なロジックが併存する組織フィールドにおいて、新たな組織形態や実践は、どのように制度化されていくのか。支配的な制度ロジックに対して、周縁的なロジックに基づくイノベーションは、どのように正当化され、普及していくのか
- ・サステナビリティを主導する企業家は、経済・社会・環境などの競合するロジックをどのようにマネジメントし、ビジネスモデルを構築していくのか。また、そのプロセスにおける、特徴的な意思決定のパターンはどのようなものなのか。

【著書・論文等】

- ・古民家再生の組織論 千倉書房 (近刊)
- ・感染症時代の経営学 千倉書房 2020年(共著)
- ・表象の組織論 中央経済社 2016年(共編著)
- ・コミュニティ・ラーニング ナカニシヤ出版(共編著)
- ・Social Entrepreneurship through Collaboration; A Case Study on Sustainable and Inclusive Social Business Development in Japan (共著)
- ・How digital platform leaders can foster dynamic capabilities through innovation processes: the case of taobao (共著) ほか

【最近の大学院生の研究テーマ】

- ・NPO経営の継続的変革プロセス
- ・中小企業のCSR活動のコミットメント要因に関する研究
- ・日本企業の産学共同研究とダイナミック・ケイパビリティ
- ・Analyzing Business Ecosystem Integration Process in Small and Medium sized Sake Brewery
- ・非公式ネットワークが社員のイノベーション行動に与える影響に関する研究
- ・着地型観光のビジネス・エコシステムの構築



専門分野： 環境経済学・経済成長論・エネルギー資源

キーワード：環境と成長，資源市場と技術進歩，新政治経済学，環境と貿易，環境と移住，立地論

【研究方法】

環境と経済との関係について 経済成長，市場構造，所得分布，政治経済，技術，立地などを考慮し，理論的に分析しています。

【研究の概要】

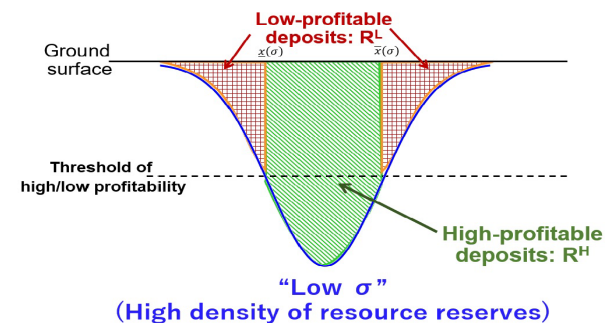
- 環境政策が，経済成長にどのような影響を与えるか、内生的技術進歩を導入してモデル化を行っています。
- 政治的要因，所得分布，市場構造，資源分布等が環境政策や成長に与える影響についてもモデル化を行っています。
- 貿易や移住・移民と環境の関係についても分析しています。

【最近の具体的な研究テーマ】

- 所得分布の拡大が，環境政策に与える影響について，立地論を導入した研究。
- ロビーイング等政治活動が環境税に与える影響
- 資源分布の分散が経済成長率に与える影響
- 貿易や自由貿易協定が環境政策に与える影響
- 環境が移住・移民に与える影響

【最近の大学院生の研究テーマ】

- The Impacts of Environmental Policies on Growth with International Trade
- An Analysis on the Allocation of Emission Allowances
- Air Pollution in China Asymmetric Information between Central and Local Governments
- The Impact of Environmental Taxation on a Monopoly Company: a Case of Electric Power Industry in China
- 中国でのNEV 政策が偏向的技術進歩と自動車需要に与える影響



Nakada & Uchida (2024) Heterogenous Size Distribution of Natural Resources and Economic Growth: The Impact of Microscale Coal Mine Closure in China, *EEU Discussion Paper*, 24-01.

中野 牧子 Makiko NAKANO (協力教員)

専門分野: 環境経済学

キーワード: 持続可能な消費、環境配慮行動、環境イノベーション、生産性分析

【研究方法】

統計学や計量経済学に基づき、定量的なデータ分析を行う
実証分析が中心

【研究の概要】

- 企業の環境問題への取組を促進する要因や取組の効果
を調べる研究。
- 消費者の製品選択(どのような製品を購入したいか、どの
ような企業から購入したいか)における環境問題等への選
好を調べる研究。

【最近の具体的な研究テーマ】

- ISO14001環境マネジメントシステムと環境イノ
ベーションの関係
- 企業の情報開示と経済パフォーマンスの関係
- 代替タンパク質に対する消費者の選好
- 環境問題を含む広範な社会的責任の問題への
企業の取組に対する消費者の選好

【最近の大学院生の研究テーマ】

- 中国における炭素取引が森林カーボンシンクに与える影響に関する研究
- 日本におけるVehicle-To-Gridの導入に向けたインフラ整備に対する支払
意志額の推定
- 企業の非財務パフォーマンスとSDGsに関するイノベーションの関係
- ベスト・ワースト・スケーリングによる代替タンパク質に対する消費者の選好
評価
- Evaluating public preferences for autonomous buses in Japan
using best-worst scaling

